

平成30年度自己点検・自己評価

※評価基準 1 できていない 2改善が必要 3ほぼできている 4できている

大項目	大項目の評価	中項目	中項目の評価	小項目(指標)	小項目の評価
I 教育理念・目的・ 育成人材像	3	【1-1】 理念・目的・育成 人材像	3	1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	2.9
				2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	3.2
				3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	3.0
				4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱えているか	2.6
現状				今後の課題と対策	
<ul style="list-style-type: none"> 大阪滋慶学園としての学校の目的はあるが、出雲医療看護専門学校としての目的として明示していない。 社会の要請に的確に対応しようと努力しているが、具体的な取り組みをしていない。 3つのポリシーは明確になっているが、業界が求める人材と一致しているか等の検討が十分に行われていない。 特色ある教育活動については海外研修等はあるが、学科としての差別化はできていない。 社会のニーズ等を踏まえた将来構想については、学生や保護者には周知していない。 				<ul style="list-style-type: none"> 出雲医療看護専門学校としての目的・理念についてどうしていくか、またどのように周知・評価・確認していくかの検討 3つのポリシーの再度検討と入試への反映方法の検討 本校の特色、他校との差別化についての継続検討 業界のニーズの早期集約からの将来構想を明確化 	

大項目	大項目の評価	中項目	中項目の評価	小項目(指標)	小項目の評価
II 学校運営	3	【2-2】	運営方針	3 5 理念等に沿った運営方針を定めているか	2.8
				【2-3】	事業計画
		【2-4】	運営組織	3 7 設置法人は組織運営を適切に行っているか	3.0
				3 8 学校運営のための組織を整備しているか	3.0
		【2-5】	人事・給与制度	2 9 人事・給与に関する制度を整備しているか	2.2
		【2-6】	意思決定システム	3 10 意思決定システムを整備しているか	2.7
		【2-7】	情報システム	3 11 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	2.8
現状				今後の課題と対策	
<ul style="list-style-type: none"> HPに運営方針は公表されているが明確でない部分もあり運営方針の職員への周知が不十分である 単年度毎の目標と評価が全職員に周知できていない 意思決定システムの組織化はされており適切に運営されている 就業規則の周知が不十分である 人員不足を感じる 				<ul style="list-style-type: none"> 運営方針などの評価・確認をとり、職員への情報通知体制を整備する 全職員参加型の会議を行い、周知徹底を図る 会議、委員会への決定事項を早急に対応する 業務効率化のための教務システムの導入 	

大項目	大項目の評価	中項目	中項目の評価	小項目(指標)	小項目の評価
III 教育活動	3	【3-8】	目標の設定	3 12 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	3.4
				3 13 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	3.1
		【3-9】	教育方法・評価等	3 14 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	3.3
				3 15 教育課程について外部の意見を反映しているか	3.0
				3 16 キャリア教育を実施しているか	2.7
				3 17 授業評価を実施しているか	2.5
				3 18 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	3.7
		【3-10】	成績評価・単位認定等	3 19 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	3.9
				3 20 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	3.8
		【3-11】	資格・免許の取得の指導体制	3 21 資格・免許取得の指導体制はあるか	3.7
				3 22 資格・要件を備えた教員を確保しているか	3.0
		【3-12】	教員・教員組織 ※教員＝専任・兼任・非常勤含む	3 23 教員の資質向上への取組を行っているか	3.1
3 24 教員の組織体制を整備しているか	3.2				
現状				今後の課題と対策	
<ul style="list-style-type: none"> 方針は定まっている シラバス、教材開発・活用に注力できにくい 卒業生からの意見の集約ができておらず不十分 科目評価の基準の詳細の見直しを検討課題 体制はできているが整備に課題有り 教員の計画配置が出来ていないところがある 				<ul style="list-style-type: none"> 明確化させた資料に基づいて見直しを行えるようにする 指定規則に対応する人員の計画配置 学生会などと協力し卒業生へのアンケートの実施 既修得単位認定の時期の検討と内部決定の検討 進学への体制強化、複数ライセンスの取得の推奨 学生への指導の多様化に対する学科間協力の推進 人員確保や学科参加による資質の向上を図る 研修などのフィードバックや学内研修会の充実 専任/兼任教員の綿密な情報共有や協力体制の充実 	

大項目	大項目の評価	中項目	中項目の評価	小項目 (指標)	小項目の評価	
IV学修成果	4	【4-13】 就職率	4	25	就職率の向上が図られているか	3.8
		【4-14】 資格・免許の取得率	4	26	資格・免許取得率の向上が図られているか	3.6
		【4-15】 卒業生の社会的評価	3	27	卒業生の社会的評価を把握しているか	3.4
現状				今後の課題と対策		
<ul style="list-style-type: none"> キャリアセンター・学科と連携をとり100%の就職を維持している 不合格者には再度挑戦できる制度を持って対応している 就職者に対しての実態調査はできていない(特に県外就職者) 学科により把握状況に差がある 学会等へ発表している卒業生も出てきている 離職の状況等キャリアセンターでアンケート調査している 「卒業生の声」として勉強会・意見交換会を開催し把握に努めている。 				<ul style="list-style-type: none"> 就職セミナーの充実化 ミスマッチを防ぐため、キャリア教育により自己分析ができる学生に指導が必要 現状維持しながら、合格率向上に向け努力していく 1年時/2年生時からの取り組みをシステム化していく 卒業生の実態調査を学校として行えるようにする 全教員で卒業生の情報が共有できると良い キャリアセンターを充実させ卒業生の社会的評価をに情報集約ができるようにする 		

大項目	大項目の評価	中項目	中項目の評価	小項目 (指標)	小項目の評価			
V学生支援	3	【5-16】 就職等進路	3	28	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	3.3		
		【5-17】 中途退学への対応	3	29	退学率の低減が図られているか	3.1		
		【5-18】 学生相談	3			30	学生相談に関する体制を整備しているか	3.7
						31	留学生に対する相談体制を整備しているか	1.7
		【5-19】 学生生活	3			32	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	3.2
						33	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3.0
						34	学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	2.8
						35	課外活動に対する支援体制を整備しているか	3.2
						36	保護者との連携体制を構築しているか	3.4
		【5-21】 卒業生・社会人	2			37	卒業生への支援体制を整備しているか	2.5
						38	産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	1.9
39	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか					2.9		
現状				今後の課題と対策				
<ul style="list-style-type: none"> キャリアセンターの設置(就職関連の窓口) 開校時より退学者は減少傾向であり、学習面や心理面でのサポートは行っている。 カウンセラーと直接メールでのやり取りが可能となった。留学生の実績はない。 経済支援について、学費未納学生の実態はある。保健室での専門職種配置は不十分。課外活動はあるが共有ができていない。 緊急時の連絡体制は電話で代用している。 同窓会の未設置や産学連携の実績がない。 				<ul style="list-style-type: none"> キャリアセンターとの連携や人材不足。 また、履歴書作成や面談練習などの対策が不十分 退学の要因分析から組織的な体制作りが必要 今後の留学生対応の準備が必要であり、外国国籍の学生への配慮も充実させていく必要がある。 未納学生に対しての具体的な支援の提案や相談の充実を図る 保健室の整備(男女別) 緊急時等対応整備(保護者や学生向けの情報提供媒体の作成) 同窓会の設置によるキャリア形成支援 (特に子供がいる)社会人学生に対する支援体制の整備 				

大項目	大項目の評価	中項目	中項目の評価	小項目 (指標)	小項目の評価	
VI教育環境	3	【6-22】 施設・設備等	3	40	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	2.8
		【6-23】 学外実習・インターンシップ等	3	41	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3.4
		【6-24】 防災・安全管理	3			42
43	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか					2.9
現状				今後の課題と対策		
<ul style="list-style-type: none"> 図書室の書籍が少ない 設備、機材の老化的対応 検査機器の貸借など未対応などもある 消防計画、防災訓練計画の実施しているが、転倒防止、防犯対策は十分ではない 職員の施設設備の認識が十分でない 				<ul style="list-style-type: none"> 必要な書籍や機材の調達を行う 文献検索システムの導入 研究用設備などの購入 防犯カメラなどの防犯対策のシステム創り 防災マニュアルの再確認と更新 学校から学生への緊急伝達システム(学園システム以外)の構築 		

大項目	大項目の評価	中項目	中項目の評価	小項目 (指標)	小項目の評価		
Ⅶ学生の募集と受入れ	3	【7-25】	学生募集活動	3	44	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	3.5
				45	学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	2.9	
		【7-26】	入学選考	3	46	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	3.6
				47	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	2.9	
		【7-27】	学納金	3	48	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3.0
				49	入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか	3.5	
現状				今後の課題と対策			
<ul style="list-style-type: none"> 各規程に則り実施している。 高校訪問は継続して実施しており、情報提供（学校の取組み、在校生・卒業生）等を行っている。 高校訪問の情報交換の効果が表れ始めている 高校教員向けの資料が不十分 募集活動における学内での情報共有がより必要 募集活動においてより効果的な活動方法（計画・実行）の見直しが必要 学納金については、入学前または進級時の案内を保護者宛へ継続して送付している 				<ul style="list-style-type: none"> 学内において、教務・広報・就職との連携強化がより必要。情報共有・情報の可視化 高校への報告（在校生・卒業生）をよりタイムリーに且つ正確に伝える 高校教員、保護者向けの資料の充実 授業への活用をさらに充実していく。そのためには学習サポートセンターを存分に活用していく 学納金についてはより正確な説明と個々に合わせた対応をより強化していく 			

大項目	大項目の評価	中項目	中項目の評価	小項目 (指標)	小項目の評価		
Ⅷ財務	3	【8-28】	財務基盤 ※法人・学校が連携して評価する。	3	50	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	2.5
				51	学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	2.6	
		【8-29】	予算・収支計画	3	52	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	2.5
				53	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	2.8	
		【8-30】	監査	4	54	私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか	3.6
		【8-31】	財務情報の公開	4	55	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3.6
現状				今後の課題と対策			
<ul style="list-style-type: none"> 法人としての財務は安定しているが、学校として定員割れであり収支としては不十分である 予算計画は行っているが計画通りになっていない 内部、外部監査を適切に行っておりHPにて公開されている 				<ul style="list-style-type: none"> 広報力を強化し学生募集の目標を達成させる計画を綿密に行う 人件費や実習費の見直しを図る 綿密な計画を立て運営を図る 			

大項目	大項目の評価	中項目	中項目の評価	小項目（指標）	小項目の評価		
IX法令等の遵守	4	【9-32】	関係法令、設置基準等の遵守	3	56	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	3.2
		【9-33】	個人情報保護	4	57	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3.7
		【9-34】	学校評価	4	58	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3.7
					59	自己評価結果を公表しているか	4.0
					60	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4.0
					61	学校関係者評価結果を公表しているか	4.0
【9-35】	教育情報の公開	3	62	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3.0		
現状				今後の課題と対策			
<ul style="list-style-type: none"> ・法令、基準等を遵守した学校運営に努力しているが、ハラスメントの窓口や規程がない。 ・28年度に自己点検自己評価委員会を設置し、年1回、教職員全員による自己評価を実施し、公表している。また、結果を受けて改善案を検討している。 ・学校関係者評価委員会を設置し、評価結果を公表している。 ・「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」項目に対応して情報公開を行っている。 				<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営上、必要なものを明確にし整備していく。（ハラスメント・障がいに関する） ・現在既存の自己評価表を使用しているが、評価項目の見直しが必要である。 ・公開している各項目の内容、範囲などを検討し、より充実させる。 			

大項目	大項目の評価	中項目	中項目の評価	小項目（指標）	小項目の評価		
X社会貢献・地域貢献	3	【10-36】	社会貢献・地域貢献	3	63	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2.9
				64	国際交流に取り組んでいるか	2.4	
		【10-37】	ボランティア活動	3	65	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3.3
現状				今後の課題と対策			
<ul style="list-style-type: none"> ・高校教員向けのクラブ顧問セミナー、まちゼミ参加による貢献 ・海外研修の実施 ・学友会における地域貢献活動の実施 （地域施設・病院ボランティア活動、あいさつ運動、交通安全啓発活動、火災予防啓発活動、出雲オロチ祭り参加、出雲神話祭り参加、募金活動など） 				<ul style="list-style-type: none"> ・施設提供以外にも、教育提供が増えると良い ・留学生の受け入れのための整備 ・海外研修以外での国際交流の機会を増やす ・ボランティア活動結果の打ち出し。また、主体的にボランティア活動に参加する方法を検討・実施する 			

出雲医療看護専門学校

